

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		建設事業費（特別会計）[下水道ストックマネジメント計画に伴う管渠調査委託]										
予算科目	款	2	事業費	項	2	建設事業費	目	1	建設事業費	事業番号	1	
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		下水道 課 業務 係								課長名	廣瀬 裕	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備									総合計画書 (ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	下水道ストックマネジメント計画に基づいた、修繕・改築が必要となる下水道施設					下水道管路施設						
	→											
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	優先度に応じた下水道施設の点検・調査を行い、管路の延命化や維持管理費の削減					管路調査を実施した下水道施設						
	→											
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	最も優先順位の高い箇所のテレビカメラ調査。					調査管路延長						
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	処理区			241						
	成果指標	②の数値	処理区			5						
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 東大和市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき設定								
活動指標	③の数値	m			5							
3 経費	事業費(実績)		円			13,200,000		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円			7,950,000						
		特定財源	円			5,250,000						
		(うち受益者負担)	円			0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人			0.3						
		所要人数(再任用)	人			0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円			2,493,000						
	職員人件費(再任用)	円			0							
事業費+人件費		円			15,693,000							
4 環境変化等	(1) 開始年度		H31 年度									
	(2) 環境の変化		公共下水道ストックマネジメント基本計画を策定した。基本計画に基づき修繕・改築を進める。									

事業名称	建設事業費（特別会計）[下水道ストックマネジメント計画に伴う管渠調査委託]			
担当部署・課長名	下水道	課	業務	係 課長名 廣瀬 裕

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	なし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	請負業者の経験によって、調査結果に幅が出てくる可能性があるため調査方法について検討する必要がある。 (2)がない	
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：市街地の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 調査を引続き継続していく必要がある。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 調査時・点検時の状態から、適切な改築・修繕を行う時期を更新していく必要がある。	